



学校安全だより

第 8 号

令和5年10月17日(火)

南三陸町立戸倉小学校

児童の心の安全を「行きたくなる学校になるように」

毎日学校が楽しいと思えるように、また、毎日学校に行きたいと思えるように、教職員・児童会みんなが課題をもって取り組んでいます。1学期末の代表委員会で、「どうしたらみんなが学校に行きたくなるのか」を話し合いました。その中で「みんなで一緒に遊びたい(1年生)」「自己紹介クイズ大会をしたい(2年生)」「全校でフルーツバスケットがしたい(3年生)」「全校でかくれんぼをしたい(4年生・5年生)」「相談箱を作って悩みを入れられたらいい(6年生)」等、各学年意見を出していました。

これらの意見を大切に、児童会では「みんなが行きたくなる学校になるように」全てを実施していこうと進めています。9月には、「自己紹介クイズ大会」を縦割り班ごとに実施し、その時に作成した自己紹介カードを児童・教職員全員分を掲示してみんなで見合いました。また、全校で大きな輪を作り「全校カラー(フルーツ)バスケット」も行いました。多くの児童の笑顔や「楽しかった～」の声を聞き、進めている児童会だけでなく教職員も嬉しく思っています。10月は、「全校かくれんぼ」を予定しています。



全校57名+教職員13名の自己紹介カードが写真付きで掲示されました。」



一人一人胸に色のカードを付けてカラーバスケットをしました。



通学路合同安全点検を行いました(10/12)

「児童生徒が安全・安心な登下校ができるように」を目的に、教育委員会、道路管理者及び警察署の方と一緒に通学路の合同安全点検を行いました。

子供たちが道路を横断する際の安全性や、見通しの悪さなどをたくさんの目で確認しました。その中で、それぞれの専門家の方々ができることと、学校の教育を通してできることと分けて進めていくことの確認をすることができました。その中で、道路を歩行したり横断したりする児童がはっきりと分かるように、ランドセル等に「反射材」を付けてほしいという意見がありました。子供たちが安全に通学できるように、全校児童分の「反射材」を学校で準備したいと思います。

本校では、登下校の際、保護者・地域の方々に見守られ児童は安全に通学ができていますが、児童自身が安全を意識して登下校できるように日々の声掛けや安全指導を続けていきたいと思ひます。